

7月のことば  
情緒の安定⑤ ～葛藤<sup>かつとう</sup>の処理

七夕のおりひめとひこぼしは、仲が良すぎたので神様は二人の間に“天の川”をつくって、一年に一回だけしか会えないようにしました。子ども心に… その年の7月7日が曇っていると、次の年まで会えないのか？ とも思いました。

ともあれ、普段はずーっと会えず、思い通りにいかずにいるのです。

民話・童話で「何でも思い通りになる話」には、どこかうさん臭く落とし穴が待っています。考えてみると私達の実生活は思い通りにならない葛藤<sup>かつとう</sup>ばかり。

この葛藤を処理できず、自暴自棄となり他人に迷惑をかけると、待っているのは不幸。逆に上手く処理できると“人間らしさ”に輝きが増して、幸福が訪れます。

そこで葛藤の処理方法を検証。

× <下手に処理をする人>

保育園の頃に生活習慣が不安定で、時間の見通しがつかず……

よって、手っ取り早い遊びしかできず、TV・ゲーム・戦いごっことなる。

これにファストフードの食事が加わり……

結果、「規格外の事がわからない」「大脳で人間としての思考ができない」「微妙な人の顔色、ニュアンスがわからない」となり、思い通りにいかなかった場合（葛藤）への対応不能。ストレスを溜めることができず、暴言・暴力に移行する。

○ <上手く処理する人>

保育園の頃に生活習慣が安定していて、時間の見通しがわかる。…これにより情緒が安定する。

よって、遊びが進化。つまり、ルールのあるもの（鬼ごっこ、かくれんぼ）、生活の場面を真似たもの（ごっこ遊び）、微妙な違い（自然素材の遊び）、センスのわかる遊びとなる。

結果、葛藤に対し「合議」「人の事を思っている理解」「順番」「代替案への納得」、「先の事を考えて待てる」等、ストレスを内包し、いい方向へ導く能力がつく。

☆

☾

☆

夏の夜空。読者諸氏<sup>しよし</sup>の中には失恋を経験して、今の幸せな家庭を築いている人もあるかと思ひます。人生は、むしろ葛藤を上手く処理する人が、社会から求められる人材となり、自然に、人・物・財がつくのです。